

# 第 64 回日本農村生活研究大会 in 埼玉

## プ ロ グ ラ ム

期 日：平成 28 年 10 月 15 日（土） 12:45～19:30

16 日（日） 9:30～16:00

会 場：十文字学園女子大学：埼玉県新座市菅沢 2-1-28

★ 公開シンポジウム 15 日（土） 13:10～16:40 会場：9 号館 4 階 9417 教室  
(公開定員 200 名)

### 『健康志向と農業の 6 次産業化』

コーディネーター：宮城 道子 氏（十文字学園女子大学）  
報 告 者：長尾 昭彦 氏（十文字学園女子大学）  
尾崎 千恵子 氏（さいたま農村女性アドバイザー）  
河野 律子 氏（有限会社河野経営研究所・中小企業診断士）  
コメンテーター：加藤 由実 氏（坂戸市環境産業部）

★ラウンドテーブルA 16 日（日）13:00～15:20 会場：9 号館 3 階 9301 教室

### 「都市農業と地域との交流」

コーディネーター：西山 未真 氏（千葉大学）  
話 題 提 供 者：並木 大治 氏（新座市 ダチョウ牧場並木屋）  
福島 聡 氏（十文字学園女子大学）  
コメンテーター：佐藤 真弓 氏（農林水産政策研究所）

★ラウンドテーブルB 16 日（日）13:00～15:20 会場：9 号館 3 階 9302 教室

### 「都市住民の参加による伝統農法と加工品開発」

コーディネーター：佐藤 奨平 氏（日本大学）  
話 題 提 供 者：伊東 蔵衛 氏（三芳町川越いも振興会代表）  
コメンテーター：澤野 久美 氏（農研機構 中央農業研究センター）

主 催：日 本 農 村 生 活 学 会

後 援：埼 玉 県

## 【 第1日 10月15日（土） 】

受付開始 12:00～

### (1) 開 会 式 12:45～13:00 (会場：9号館4階9417教室)

大会総合司会：澤野 久美 氏 (農研機構 中央農業研究センター)

来賓ご挨拶：埼玉県農林部長 河村 仁 氏

学会長挨拶およびテーマ開示：安倍 澄子 会長

### (2) 公開シンポジウム 13:10～16:40 (会場：9号館4階9417教室)

#### 『健康志向と農業の6次産業化』

コーディネーター：宮城 道子 氏 (十文字学園女子大学)

報 告 者：長尾 昭彦 氏 (十文字学園女子大学)

「機能性食品と農産物」

尾崎 千恵子 氏 (さいたま農村女性アドバイザー)

「みんなおいでフェスタ in さいたまを開催して学んだこと」

河野 律子 氏 (有限会社河野経営研究所・中小企業診断士)

「農山漁村の起業活動から、農業の6次産業化へ

ー民間と公共の2つの支援の立場を体験してー」

コメンテーター：加藤 由実 氏 (坂戸市環境産業部)

総合討論 15:40～16:40

農業をめぐる環境変化は、農業経営のみならず、農家生活や地域の人々のつながりにも大きな変化を与えている。農産物に求められる付加価値が多様化しているだけでなく、生産者と消費者の関係も多様化している。また、生産は男性主導、消費は女性主導という性別役割分担は解消しつつあるが、本質的な男女共同参画社会の実現に向かう道筋は、まだ試行錯誤の繰り返しである。

このような状況をふまえ、多くの消費者に囲まれ、多彩な農業が展開されている埼玉で、多様な立場の人々の交流・議論をめざすものである。特に、シンポジウムで取り上げる「健康志向と農業の6次産業化」は、農産物の付加価値化において重要な視点であり、埼玉農業がめざす収益性の高い農業経営実現の一助となる可能性が高い。また、ラウンドテーブルで取り上げる消費者との多様な交流事例は、地域資源としての農業を、埼玉県民の観光、教育、福祉等のニーズとつなぐ可能性を示すこととなる。これらを通じて、現代の地域社会や生活において求められている、多様性や持続可能性の意義と可能性に接近を試みる。

(3) 学会賞授与式 16:40～17:00 会場：9号館4階9417教室

(4) 総 会 17:00～17:50 会場：9号館4階9417教室

(5) 情報交流会 18:00～19:30 会場：7号棟1階カフェテリア

【 第2日 10月16日(日) 】

(1) 一般報告(9:30~10:30)(10:40~11:40)

★ A会場:9号館3階9301教室

1人20分(報告15分 質疑応答5分を目安に)

A-1(9:30~10:30) 座長:納口 るり子(筑波大学)

- ①畜産現場における女性農業者の成長に関する一考察  
—結婚を機に就農した女性農業者を対象として—

阪南大学 仁平 章子

- ②雇用型農業法人における動機付け方策の特徴と課題

—若年層女性従業員への取り組みを中心として—

農研機構 中央農業研究センター ○澤野 久美 澤田 守

- ③若手女性農業者組織の育成—TNしありー’Sの事例より—

群馬県利根沼田事業所普及指導課 ○金古 明美

群馬県農政部技術支援課 金井 豊子

A-2(10:40~11:40) 座長:粕谷 美砂子(昭和女子大学)

- ④カンボジア国コンポンチャム州サムロングコミュニティにおける農家経営の類型化

—効果的な農村支援事業の策定に向けて—

特定非営利活動法人 環境修復保全機構 山田 忍

- ⑤ブルキナファソにおけるコメのパーボイル加工の現状と課題

—バマ地区農村女性の取り組み事例—

NTCインターナショナル 高木 茂

- ⑥北イタリア・南チロルにおける女性農業者の職業教育・訓練

—女性の経営参画とアグリツーリズム—

十文字学園女子大学 大友 由紀子

★ B会場:9号館3階9302教室

1人20分(報告15分 質疑応答5分を目安に)

B-1(9:30~10:30) 座長:相川 陽一(長野大学)

- ①学生と教員の協働による中山間地域における「ふるさと支援活動」

—埼玉県秩父市旧吉田町太田部・石間地区での活動をもとに—

十文字学園女子大学 野島 靖子

- ②地域おこし協力隊の現状と課題—山梨県甲州市の事例から—

文京学院大学 甲斐田 きよみ

- ③女子大学生と地域住民との協働による地域づくりの試み

—サステナビリティとシチズンプライド—

十文字学園女子大学 松永 修一

B-2(10:40~11:40) 座長:川手 督也(日本大学)

- ④消費実態からみた地域ブランドにおける地産地消の可能性ーブランド京野菜を事例としてー  
京都府立大学 ○中村 貴子  
農研機構 中央農業研究センター 澤野 久美  
元京都府立大学 杉田 葵 岸 祐大朗

- ⑤鳥獣害対策に対する「むら」の合意形成  
ー新発田市川東地区鳥獣害対策協議会の取り組みから見えるものー  
農研機構 農村工学研究部門 重岡 徹

- ⑥直売所における売上情報配信システムの導入と利活用  
千葉大学 ○櫻井 清一  
日本政策金融公庫 川副 温子

★ C会場: 9号館3階9307教室

1人20分(報告15分 質疑応答5分を目安に)

C-1(9:30~10:30) 座長:市田 知子(明治大学)

- ①家庭内での惣菜のアレンジに関する研究  
東京農業大学 ○玉木 志穂 大浦 裕二  
農林水産政策研究所 八木 浩平  
農研機構 山本 淳子

- ②高齢者の食生活に関する研究  
佐賀女子短期大学 坂本 美須子

- ③獣害対策とジビエ利用における地域ぐるみ活動の有効性と課題  
農研機構 農村工学研究部門 唐崎 卓也

C-2(10:40~11:40) 座長:小坂田 稔(美作大学)

- ④震災・原発事故からの農村女性起業再生の課題ー福島県阿武隈地域を中心にー  
福島大学 岩崎 由美子

- ⑤超高齢農村における住民生活の実態と高齢者ビジネスの可能性ー秋田県三種町を事例としてー  
株式会社アチカ 村上 歩

- ⑥農業分野における精神障害者の地域社会包摂のありかたについて  
東京農業大学 ○杉原 たまえ 岩本 純明

(2) 昼食 11:40~13:00: 場所等は当日ご案内いたします。

お弁当を1個500円にて予約販売を行います。

必ず予約が必要ですので、参加申し込みの際に、お弁当の必要・不要もお返事下さい。

(3) ラウンドテーブル 13:00~15:20

★ラウンドテーブルA 13:00~15:20 会場：9号館3階9301教室

「都市農業と地域との交流」

コーディネーター：西山 未真氏（千葉大学）  
話題提供者： 並木 大治氏（新座市 ダチョウ牧場並木屋）  
福島 聡氏（十文字学園女子大学）  
コメンテーター： 佐藤 真弓氏（農林水産政策研究所）

★ラウンドテーブルB 13:00~15:20 会場：9号館3階9302教室

「都市住民の参加による伝統農法と加工品開発」

コーディネーター：佐藤 奨平氏（日本大学）  
話題提供者： 伊東 蔵衛氏（三芳町川越いも振興会代表）  
コメンテーター： 澤野 久美氏（農研機構 中央農業研究センター）

(4) ラウンドテーブル総括・閉会式 (15:30~16:00) 会場：9号館4階9417教室

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

参加費等について

○大会参加費（要旨代を含む）	日本農村生活学会会員	4,000円
	非会員	6,000円
	学生会員（含非会員）	2,000円
○情報交流会	会員・非会員	4,000円
	学生会員	2,000円
○報告要旨のみ（当日以降販売）		2,000円

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

<大会参加申し込み方法>

★申し込み方法①-WE Bによる場合

<https://mailform.mface.jp/frms/rurallife2016/lflty5oidrdy>

日本農村生活学会ホームページ (<http://www.rurallife.org/>) にもリンクがあります。

できるだけWE B申し込みをご利用ください。

★申し込み方法②-F AXの場合

別添のファックス参加申し込みフォームに、必要事項を記入し、048-478-9367（十文字学園女子大学事務局）へ送信ください。

★大会参加申し込みは、**10月3日（月）正午**までにWE BかF AXでお願いします。事務局からの返信をもって申し込み受付とさせていただきます。

★大会参加費は大会当日、受付にてお支払い下さい。領収書について宛先等のご指定がある方は、申込書にその旨ご記入下さい。

★なお、当日申し込みによる参加も可能です。

★2日目のみ、お弁当の予約販売をします。大学近辺には昼食を取れる場所が少ないので、ぜひ大会申し込みと同時に予約をお願いします。（新座駅周辺にコンビニ等があります。）

<公開シンポジウムの参加申し込み>

- ★1日目のシンポジウムのみに参加される場合は、無料です。ただし、定員が200名ですので、事前にWEB申し込みをお願いします。グループや同じ所属の方々が一緒に申し込む場合は、代表者による申し込みでも結構ですが、大会事務局への連絡事項欄に、参加人数を明記して下さい。

<https://mailform.mface.jp/frms/rurallife2016/lyaydfusw72i>

日本農村生活学会ホームページ (<http://www.ruralife.org/>) にもリンクがあります。

<大会に関する問い合わせ先>

十文字学園女子大学 2016 埼玉大会事務局 宮城道子

住所 〒352-8510 埼玉県新座市菅沢 2-1-28

TEL (研究室直通) 048-260-7675 Email : [rurallife2016@jumonji-u.ac.jp](mailto:rurallife2016@jumonji-u.ac.jp)

FAX (大学事務局) 048-478-9367

<宿泊に関して>

- ★大学周辺には宿泊施設がありません。比較的近い宿泊施設は志木駅、北朝霞駅周辺です。
- ★パーシモンホテル (東武東上線志木駅南口徒歩4分) <http://www.persimmon-hotel.com/>  
ネット予約の際、「十文字学園女子大学まで送迎希望」と記入いただくと、以下の時間でマイクロバスでの送迎が利用できます。

送迎予定時間：15日(土) 19:45頃大学発/16日(日) 9:00頃ホテル発

<十文字学園女子大学までの交通アクセス等ご案内>

- ★JR武蔵野線新座駅から徒歩8分。詳細は、下記の地図および大学HPをご覧ください。
- ★駐車場のご用意ができませんので、公共交通機関のご利用をお願いします。
- ★十文字学園女子大学キャンパス内は、全面的に禁煙です。喫煙場所はありません。ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

